

経済データで見る「最近の世界経済動向(2012年8~10月)」

* 青字は悪化指数、%は前年比

2012.10.18.現在 日本機械輸出組合

	2012年8月	2012年9月	2012年10月	最近の経済動向
世界	-GDP:IMF12年:世界 3.3、日 2.2、米 2.2、 1-Q 0.4%減 、独 0.9、中 7.8、インド 4.9、ブラジル 1.5、ロシア 3.7 -4-6月:OECD設備投資前期比 0.2%減 -ドバイ原油2日101ドル、21日111.4ドル -OECD世界輸出12年3.8%増	-APEC ウラジオ会合 保護主義自制、FTAAPの実現、環境54品目関税「0」 -ドバイ原油11日111.6ドル、27日107.5ドル -8月:世界半導体売上 3.2%減	-G7、経済減速回避で連携、円高悪影響、IMF、世界経済減速懸念 -ドバイ原油6日109.4ドル -7-9月:世界M&A 15%減 、世界パソコン出荷 8.6%減	・欧州経済は信用不安で低迷、同地域向け輸出が減少。中国経済は減速も成長維持。インドネシア、インドは5%以上成長、タイ成長回復。米経済は消費堅調で回復傾向持続。我が国経済は輸出不振等で低成長。
日本	-景気:円高倒産急増上期負債額718億円、10日消費増税法成立 -株価:3日8,554、21日9,185、31日8,839 -雇用:シャープ5千人削減、パナソニック本社1千人削減、失業率4.3%横這い -消費:7月:消費支出1.7%増、小売業販売額0.8%減、新車販売37.5%増51万 -受注:7月:機械2.6%増、産業機械13%減、工作機6.7%減 -生産:7月:鉱工業0.8%減、在庫9.4%増、前月比1%減、自動車16.7%増 -貿易:7月:輸出8.1%減、入2.1%増 -収益:4-6月:経常益:上場企業2%増、自動車回復、鉄鋼・化学減、純益:丸紅8%増、三菱商15%減、三井物21%減、伊藤忠24%減、住友商42%減、トヨタ250倍2,903億円、日産15%減722億円、ダイソ8%減、ニコン49%減、HOYA51%増、日揮13%増、最終損:東芝121億円、オリンパス44億円 -投資:7月:機械受注民需前期比4.6%増、12年度:全産業12.2%増、研究開発投資4.3%増	-景気等:15-18日尖閣諸島国有化で中国反日デモ、暴動7-9月:大企業景況感+2.2改善 -財政・金融:19日日銀追加金融緩和資産買入10兆円増額、終期延期 -株価:6日8,677、19日9,236、28日8,870 -雇用:ルネサス7,500人早期退職応募、8月:失業率4.2% 0.1%改善 -所得:8月:勤労者時収入1.8%増 -消費:21日エコ+補助金締切、8月:消費支出1.8%増、前月比2.2%増、小売業販売1.8%増、新車販売12.4%増38万、住宅着工5.5%減 -受注:8月:工作機械2.7%減 -生産:8月:鉱工業4.3%減、前月比1.3%減中国向け減少 -貿易:28日1ドル77.5円、8月:輸出5.8%減、入5.4%減 -投資:8月:機械受注民需前期比3.3%減	-景気等:9月:大企業製造業景況感 マイナス3で2ホ悪化 -財政・金融:5日日銀金融政策現状維持 -株価:3日8,746、5日8,863、17日8,823 -物価:5日DRAM最安値 -消費:9月:新車販売8.1%減 -受注:9月:機械18.6%減、工作機械3%減、産業機械44.4%減5ヶ月- -収益:4-9月:営業益:コマツ20%減、中国売上半減、ニコン43%減	(前々月)・GDP4-6月は0.7%増と成長維持。消費は車需要で回復維持。輸出は欧州、中国不振で大幅減少。受注・生産減少。投資は回復傾向維持。失業率横這い。営業益4-6月は大幅鈍化、自動車、重電、プラントは回復傾向、民生電子、通信機器は不振。株価は再び回復傾向。景気回復、雇用拡大が課題。貿易収支の赤字が懸念材料 (前・当月)・GDP4-6月は0.7%増と成長を維持。失業率横這い。消費はプラスも車、住宅需要減少。輸出は欧州、中国不振で大幅減少。受注・生産減少。投資は回復傾向維持。営業益4-6月は大幅鈍化、自動車、重電、プラントは回復傾向、民生電子、通信機器は不振。株価は低位上下。景気回復、雇用拡大が課題。貿易収支の赤字が懸念材料
アジア・大洋州	-株価:上海8日2166、31日2051 -中国:7月:製造業景況感47.8で50切る、輸出1%増、輸入4.7%増、工業生産9.2%増、新車販売8.2%増、製造業景況感指数50.1、0.1ホ低下、消費者物価1.8%、1-6月:純益:吉利8.7%増130億円、TCL48%減、ZTE68%減、4-6月:純益:レノボ30%増112億円、営業損:太陽電池大手3社 -韓国:18日現代自でスト、4-6月:GDP前期比年率1.1%増、前期比0.3%増、7月:輸出8.8%減、欧中国向け× -台湾:7月:鉱工業生産0%、輸出11.6%減5ヶ月-、海外受注高4.4%減、4-6月:純益:アスス34%増、グアソク12%増、営業益:ホンハイ36%増、最終損:AUO125億台ドル、奇美96億台ドル -フィリピン:4-6月:GDP5.9%増 -インドネシア:7月:消費者物価4.6%増、 -ベトナム:1-6月:GDP4.4%インフレ高進 -タイ:7月:自動車生産44%増21万台、4-6月:GDP4.2%、投資11.8%増、消費5.3%増、輸出0.4%減 -マレーシア:4-6月:GDP5.4%消費、投資 -ミャンマー:ABB融資再開(24年ぶり) -インド:4-6月:GDP5.5%増、投資0.7%増、輸出-、2日北部大停電、7月:新車販売9%増、鉱工業生産0.1%増	-株価:上海10日2117、18日2065、16日2110 -中国:8日12兆円公共投資認可(鉄道、港、道路)、15日尖閣国有化で反日デモ激化、8月:製造業景況感49.2で50切る、輸出2.7%増、輸入2.6%減、新車販売8.3%増149万台、工業生産8.9%増 -韓国:LG・TV用有機EL量産、8月:輸出6.2%減 -台湾:8月:鉱工業生産1.9%増、輸出4.2%減6ヶ月-、輸入7.6%減、海外受注1.5%減 -インドネシア:7月:消費者物価4.6%増、 -ベトナム:8月:新車販売34%減、12年:GDP5.2%下方修正 -タイ:8月:自動車生産37%増21万台 -インド:預金準備率0.25%引下げ4.5%へ、6月:輸出9.5%減、	-株価:上海10日2117、17日2101 -アジアGDP:12年:アジア6.1、中国7.7、インド5.6、インドネシア6.3、マレーシア4.6、フィリピン5.5、タイ5.2、ベトナム5.1 -中国:9/30-10/7日国慶節休暇、9月:製造業景況感49.8前月比0.6ホ上昇、輸出9.9%増、輸入2.4%増、新車販売1.8%減8ヶ月ぶり-、7-9月:GDP7.4%、最終損:ZTE237億円 -韓国:11日、政策金利0.25%引下げ2.75%へ、9月:輸出1.8%減、輸入6.1%減、7-9月:営業益:サムスン91%増5,700億円過去最高 -台湾:9月:輸出10.4%増7ヶ月ぶり+、7-9月:純益:HTC79%減、 -ベトナム:9月:鉱工業生産9.7%増、7-9月:GDP5.35% -シンガポール:7-9月:GDP前期1.5%減 -インド:9月:新車販売4%増、卸売物価7.8%	(前々月)・中国は4-6月GDP7.6%、投資・消費高水準維持、車販売回復、輸出大幅鈍化、株価低迷。韓国、輸出、投資減少、消費で成長維持、企業業績好調。台湾、輸出、生産低迷、企業業績不明。インドネシア、マレーシア、タイ経済好調。ベトナム4%台成長もインフレ。シンガポールは再びマイナス成長。インド、5%台成長に鈍化、車販売は回復傾向も輸出不振で生産低迷、物価再び上昇傾向 (前・今月)・中国は7-9月GDP7.4%、投資・消費高水準維持、車販売急減、輸出底打、株価低迷。韓国、輸出、投資減少、消費で成長維持、企業業績好調。台湾、輸出底打、生産低迷、企業業績不明。インドネシア、マレーシア、タイ経済好調。ベトナム5%台成長もインフレ。シンガポールはマイナス成長。インド、5%台成長に鈍化、車販売は回復傾向、輸出不振、生産低迷、物価再び上昇傾向

北米	<p>-GDP:4-6月:1.3%下方修正 -景気:2日FRB必要なら追加緩和、30日地区連銀:景気徐々に拡大続く、7月:製造業景況感49.8、0.1ポイント改善 -株価:NYダウ1日12,971ドル、13日13,277ドル、31日13090ドル -雇用:14日1000万人削減、キャピタル1工場閉鎖、7月:失業率8.3%、0.1ポイント上昇、16万人増 -所得:19日キャピタル、Big3に賃下げの動き 消費:7月:個人消費前月比0.4%増、主要小売販売4.6%増、新車販売8.9%増115万台、住宅着工21.5%増、前月比1.1%減、新築販売25.3%増、住宅価格1.2%増、 -生産:7月:鉱工業前月比0.6%増 -貿易:7月:輸出3.3%増、輸入0.3%増 -収益:5-7月:純益:シスコ56%増1510億円、デル18%減7.3億ドル、最終損:HP90億ドル -投資:1-6月:設備投資前期比2.7%増</p>	<p>-景気:28日地区連銀、春からの生産減速に一服感、8月:製造業景況感49.6、0.2ポイント低下、 -財政・金融:1日FRB必要なら追加緩和、14日FRB:QE3導入決定、住宅担保証券買入月3.1兆円際限無 -株価:NYダウ5日13,047ドル、21日13,635ドル、28日13,417ドル -雇用:ワールプール4千人解雇、HP2千人追加削減、8月:失業率8.1%、0.2ポイント低下、雇用9.6万人増加 -所得:8月:個人所得前月比0.1%増 消費:8月:個人消費前月比0.5%増、小売売上高4.7%増、前月比0.9%増、新車販売19.9%増日本車好調、新築住宅販売27.7%増、住宅着工29%増前月比2.3%増 -受注:8月:耐久財5.5%増前月比13.2%減 -生産:8月:鉱工業前月比1.2%減 -貿易:8月:輸出1.6%増、輸入1.7%減 -収益:6-8月:最終損:マイクロン188億円、RIM182億円、</p>	<p>-景気:11日地区連銀、一般的に緩やかに拡大 -財政・金融:12年度:財政赤字1兆ドル超(16%減)4年連続 -株価:NYダウ5日13,630ドル、12日13,317ドル、16日13,551ドル -雇用:12日、アプライド1300人削減、9月:失業率7.8%0.3ポイント改善、11万人増 消費:9月:小売売上高5.4%増、新車販売12.8%増日本車好調 -生産:9月:鉱工業前月比0.4%増 -収益:7-9月:純益:IBM0.4%減、38億ドル3年ぶり、インテル14%減、30億ドル</p>	<p>(前々月)・GDPは4-6月1.5%増で12期連続+。失業率低下も高水準。車・住宅販売高水準で個人消費は堅調。投資は回復傾向。輸出は鈍化。生産も鈍化傾向。企業収益4-6月6%増で12期連続+も鈍化、企業により斑模様。株価は回復傾向。高水準の失業率、財政赤字が懸念材料。雇用拡大が課題 (前・今月)・GDPは4-6月1.3%増で12期連続+。失業率低下も高水準。車・住宅販売高水準で個人消費は堅調。投資は回復傾向。輸出は鈍化。生産は鈍化傾向。企業収益4-6月6%増で12期連続+も鈍化、企業により斑模様。株価は回復傾向。高水準の失業率、財政赤字が懸念材料。雇用拡大が課題</p>
欧州	<p>-株価:英FTSE3日5,662、14日5,864、31日5,771 -雇用:7月:ユーロ11.3%横這い最悪、独5.5%、仏10.3%、伊10.7%、蘭5.3%、スペイン25.1%、ポランド10% -消費:7月:小売売上高:ユーロ1.7%減、独1%減、仏3%増、英4.4%増、スペイン7.3%減、ポランド2.9%増、新車販売:独5%減 -生産:7月:鉱工業:ユーロ2.3%減、独1.7%減、仏3.3%減、英0.5%減、伊7.3%減、蘭2.5%減、スペイン5.4%減、ポランド4.4%増 -貿易:7月:ユーロ輸出11%増、輸入2%増 -投資:シーメンス、エネルギー、医療に780億円投資、1-6月:設備投資前期比1.3%減</p>	<p>-景気等:27日ギリシャ、スペインで反緊縮運動、8月ユーロ景況感86.1、1.8ポイント低下5ヶ月- -財政・金融:7日ECB南欧国債無制限買支え合意 -株価:英FTSE5日5,657、14日5,915、27日5,779 -雇用:フィリップス14年迄今に6,700人削減、8月:失業率:ユーロ11.4%最悪、スベ25.1% -消費:8月:小売売上高:ユーロ1.3%減、独0.8%減、仏0.3%増、英4.5%増、スペイン2.1%減、ポランド0.3%減、新車販売:欧州8.9%減、独4.7%減、仏11.4%減、英0.1%増、伊20.2%減、蘭15%減、スペイン3.4%増、ポランド7.7%減 -生産:8月:鉱工業:ユーロ2.9%減、独1.6%減、仏0.3%増、英0.6%減、伊5.2%減、蘭1.8%減、スペイン3.2%減、ポランド1.6%増 -貿易:8月:ユーロ輸出10%増、輸入1%増</p>	<p>-財政・金融:8日、欧州安定メカニズム(ESM)発足、資金5千億ユーロ新たな支援に適用 -株価:英FTSE5日5,871、10日5,776、16日5805 -消費:9月:新車販売:ユーロ11%減、独11%減、仏17.9%減、英8.2%増、伊25.7%減、蘭27.7%減、スペイン36.8%減、ポランド10.7%減</p>	<p>(前々月)・GDP4-6月はマイナス成長。過去最悪の失業率で消費はマイナス、自動車販売大幅減少続く。輸出は二桁増維持。投資は停滞。生産はマイナス続く。企業業績は自動車、医療機器関係が総じて好調も斑模様、通信機器は赤字。株価はやや回復傾向。信用回復、景気回復、雇用確保が課題 (前・今月)・GDP4-6月はマイナス成長。過去最悪の失業率で消費はマイナス、自動車販売大幅減少続く。輸出は二桁増維持。投資は停滞。生産はマイナス続く。企業業績は自動車、医療機器関係が総じて好調も斑模様、株価は低迷もやや回復傾向。信用回復、景気回復、雇用確保が課題</p>
中東	<p>-トルコ:4-6月:GDP2.9%増、4-6月:GDP2.9%増 -エジプト:11.7~12.6国際収支113億ドル赤字、 -南ア:4-6月:GDP3%増</p>	<p>-トルコ:12年:GDP3~4%</p>		<p>・主要国経済は政変沈静化で回復の兆し。太陽光、電力、水、石化プロジェクトに復興需要。中東情勢の安定化、景気回復が課題</p>
中南米	<p>-ブラジル:大型景気対策(高速道路、鉄道に5年間3.1兆円)、30日0.5%利下げ年7.5%へ、7月:新車販売19%増、36万台</p>	<p>-ブラジル:8月:新車販売32%増40.5万台</p>	<p>-ブラジル:11日、基準金利0.25%引下げ7.25%へ、1-9月:自動車販売4%増、278万台</p>	<p>・ブラジル経済は金融引締緩和で自動車等消費を中心に回復の兆し。メキシコ経済は堅調に推移。持続的成長が課題。</p>
露東欧	<p>-ロシア:22日WTO加盟、4-6月:GDP3.9%増、1-6月:対内直接投資8%増、輸出7.3%増、輸入3.6%増</p>	<p>-ロシア:13日政策金利0.25%引下げ年8.25%へ</p>		<p>・ロシアは石油価格の高止まりで輸出好調、投資、新車販売等内需中心に経済堅調。持続的回復が課題。</p>